

柏陵

動き出した進学重視型の高校化

同窓会長 諏訪 秀一
(高五回卒)



平成二十五年四月より実施される進学重視型単位制高校に向けて母校本庄高校は動き始めました。基本姿勢は、「生徒一人一人が大学への進路希望に応じた丁寧な指導を行い、変化の激しい時代を先駆するリーダーにふさわしい調和のとれた全人教育を実践する」ことで、それに沿った指導方法が具体化してきました。

「高い目標に向かってチャレンジする」のに必要な基礎として、「時を守り、



場を清め、礼を正す」や、今すべきことを「日々の学校生活の中で常に意識して行う指導が徐々に浸透し始め」(小茂田佳郎教諭・同窓生)、卒業式等も変わってきました。

昨年起こった東日本大震災の現地で三回支援活動をおこなった生徒たちは、引き続きの活動をするようです。

運動部・文化部の活動は、毎号の会報で紹介していますが、今年は美術・書道・吹奏楽等の活動の発表の機会を数多くしています。全国高校野球埼玉大会開幕戦で深谷第一を六対一で破りTV放映された野球部は九十周年記念事業に市民球場で二高校との招待試合を行いました。

十一月の公開授業では、

題 字
相川徳平 (旧中1回卒)

発行
県立本庄高校同窓会
会長 諏訪 秀一

事務所 〒367-0025
本庄市西五十子430-1
TEL 0495(21)4753

印刷 (有)本庄孔版社

平成24年度 本部役員

会 長	諏訪 秀一	高5
副会長	飯塚 隆司	高5
副会長	富田 浩郷	高6
副会長	山口 康裕	高10
副会長	丸山 条太郎	高12
副会長	白本 直子	高12
副会長	茂木 秀夫	高13
副会長	斉藤 勝次	高14
副会長	佐々木 範子	高16
副会長	関口 博美	高25
副会長	杉田 一郎	(教頭)
副会長	秋谷 和宏	(教頭)
副会長	菅野 義彦	(教頭)
会 計	志塚 保雄	高18

平成24年度 支部役員

宮本町	荒井 稀索	高3
上 町	竹並 一郎	併2
七軒町	境野 登	高2
仲 町	飯塚 一徳	高4
本 町	清水 能成	高5
南本町	村田 正一	高6
台 町	武政 敬次郎	中22
末広町	野枝 芳和	高10
諏訪町	谷山 卓司	高13
朝日町	山田 功次	高19
藤田町	内野 昭八郎	高4
仁 旭	志塚 弘良	高4
北 泉	亀田 本二	高14
今 井	狩野 輝昭	高4
兄 玉	荒井 正純	高15
美 里	青木 英一	高22
神 川	伊藤 信夫	高9
神 泉	秋山 政雄	高28
上里神保原	森村 欣彦	高14
上里賀美	小野 信行	高14
上里七木	久保 英彦	高14

評 議 員

議長	戸谷 全克	高1
評議員	竹並 一郎	併2
評議員	塚越 壽衛	高2
評議員	内野 ヨシエ	高16
評議員	茂木 延雄	高3
評議員	江原 清吉	高4
評議員	松本 泰昌	高8

会 計	櫻井 弘子	高10
監事	市橋 清子	高22
監事	新井 次郎	高25
監事	黒沢 敬子	高31
顧問	植岡 正人	(校長)

校 歌

作詩 土岐善磨
作曲 信時 潔

連峰雲に
かざやくところ
浅間ほけだかく
赤城は深し

知性の道を
いしく踏み
真理を求め
自主のころ

あふる希望に
風晴れたり

あ、われらの本庄
われらの高校
われらは世界と
共にある

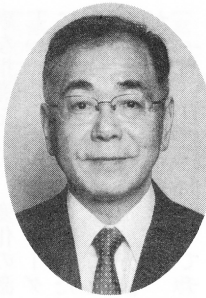
書道部 二年
吉村美咲さん

創立九〇周年 記念式典



柏陵消息

更なる飛躍を

校長 埴岡 正人
(二十七回卒)

本年四月に校長として赴任しました。本年は、創立九十周年の年であり、また来年度より進学重視型単位制へと移行する節目の年でもあります。この大事な年に若輩者であります私が校長として母校に帰って来られたことは、大変光栄な事であると同時にとても大きな責任感を感じているところでございます。

去る十一月十七日、本庄市民文化会館に於いて、多くのご来賓にご臨席いただき、無事記念式典を挙行することが出来ました。会場の関係で、同窓生の皆様には本部役員、支部長の皆様のみのご列席とさせて頂いたしましたが、盛大に執り行うことが出来ました。これも同窓生の皆様のご支援のおかげと深く感謝し、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、本校は来年度より進学重視型単位制高校とし

て新たな教育活動を展開して参ります。現在までに確定したことは次のとおりです。

① 週あたりの授業時間を三十四時間とし、全校をあげて隔週土曜授業を実施する。
② 新入生より、特進クラスを二クラス設置する。さらに授業のない土曜日を利用して、予備校講師による年二十回の特別補習を実施する。
そして今、プール西側には二階建てのセミナー棟の新築工事が進められております。一階が図書館、二階が六つの教室に仕切ることが出来るセミナーホールで、三月完成予定です。

また、今年度から三年計画で、普通教室棟、特別教室棟、管理棟の順に大規模改修工事が行われます。今年度は、普通教室棟の改修工事が行われ、快適な環境の下、授業が行われております。

特筆すべき生徒の活動では、東北復興ボランティアがあげられます。昨年の夏休み、三年生の倫理受講者の有志が仙台市へボランティアに行つたのを機に、今年度は、これまでに三回の復興ボランティアを実施しました。先日の記念式典の翌日には、四十一人の生徒と五人の教員が宮城県南三陸町へ行ってまいりました。同窓会員の皆様には、引き続き、本校の教育活動に對しましてご理解とご支援の程お願い申し上げます。

母校近況

部活状況

運動部

弓道部

九十周年記念誌にも記しましたが、現在の弓道場は「満身創痍」のボロボロ状態です。昨年九月一日の集中豪雨で床上浸水となり、床は波打ち状態。屋根は実にトタン板一枚のみ。戸板九枚は建て付けが悪く、開閉に難儀しています。そんな悪環境にもめげず、今年度五・六月のインターハイ個人女子で一次二次三次予選を通過し、久しぶりに決勝まで進出。惜しくも敗れましたが、九五五人中十九位で健闘しました。

柔道部

柔道部は、今年度、新入生三名が入部し、全員で六名となり、やっと勝負ができる状態になってきました。お陰様で、六月のインターハイ県予選では、ベスト十六、九月に行われた県北柔道新人大会では六六kg級で優勝することもできました。

今後、より一層団結し、「文武両道」をモットーに、関東大会全国大会出場という高い目標に向かって、日々努力、そして、チャレンジしていきます。

サッカー部

現在、部員五十名前後で、「上をめざす」のスローガンのもと、部員一丸となって活動しています。

① サッカーを通して自立した人間形成、② トップを目指す、③ 文武両道、を目標に日々の活動を大切にしながら、一生懸命取り組んでいます。今年度は北都から1部へ2部ととなり、来年から1部への昇格を決めることができました。県大会ベスト8を目標に毎日精進しています。

卓球部

現在男子八名(一年生五名、二年生三名) 女子八名(二年生四名、二年生四名)、で日々活動しています。一昨年度は、女子は、シングルスタブルスと県大会に出場し、男子もあと一歩で県大会というところまでいきましたが、昨年度は残念ながら男女とも県大会出場はなりませんでしたが、

このところ不本意な結果が続いていますが、部員全員が卓球大好きで、熱心に活動しているのが、県大会へ何とか出場したいと思っています。

水泳部

三年生の男子二人が引退し、現在は、男子九名、女子一名で活動しています。水泳は、六月のスプリント大会を皮切りにシーズンがスタートし、九月の新人大会で幕を閉じます。シーズンは約五ヶ月間と短く、その間は本高のプールを使用し、集中して練習に励んでいます。今はプールでの練習の代わりに基礎体力作り各自が各自のペースで取り組んでいます。

ワンゲル部

現在男子一名、女子八名、合計九名で活動しています。通年の活動内容は以下です。

① 部独自の月例の山行、② 平素の陸トレ、歩荷(二〇〇〜二五キロの荷重を担いで部室棟や新館の階段を上り下りする訓練)、③ 県高体連主催の大会への参加。

今年の九月の北部地区新人大会は上越の名峰白毛門(しらがもん)でした。参加率百パーセントで意気込んでいたのですが、台風の直撃が予想され急遽中止になってしまいました。

比較的近頃では平成一六、一八、二〇、二一年に関東高等学校登山大会に出場しています。現バリエイを強化して出場を目指しています。

野球部

現在、三年生が引退し、一年生十二名、二年生十五名とマネージャー四名の三十一名で活動しています。

近年、私立高校が野球に力を入れており、県立高校が大会で一勝をする事は、とても難しくなっていると思います。そのような状況の中で野球部では、今年度も秋季大会において私立高校を倒し、県大会出場を果たし、関東大会・全国大会出場に向け日々練習に励んでいます。

女子ソフトテニス部

現在、二年生六名、一年生五名の十一名で活動しています。八時からの朝練習、火曜日・金曜日は美里の遺跡の森のコートを借りて活動しています。

今年度の現在までの大会成績ですが、春の関東予選県大会

会個人に二ペアが予選を勝ち抜き出場しました。インターハイ予選県大会では一ペア三回戦でした。団体は関東・インターハイ予選ともに県三二本でした。

秋の新人戦では団体で県大会出場、個人では二ペアが県大会出場しました。一ペアが県十六本まで勝ち進み、来春の個人戦地区予選免除を得ています。

文化部

演劇部

ここ数年部員も増えてにぎやかに活動している。演目を記録から拾い見ると、今年の春の大会で発表した「ウェストソルシエール」、秋の地区大会「紅葉くれは」で取り組んだ「学校へ行こう」後藤を待ちながら「」のように創作劇が多い。

現在十四名の部員で全力疾走中である生徒たちは、演劇の持つ自分の自分を解放していく力を遺憾なく発揮しながら、クリエイティブな世界に遊んでいる。

吹奏楽部

今年度は、部員七十名で活動が始まりました。六月に第五十一回定期演奏会を本庄市民文化会館で盛大に開催することができました。八月の吹奏楽コンクールの部では、本校において初となる地区大会で金賞を受賞し、県大会では銅賞を受賞することができました。

その後、三年生が引退し、九月からは四十八名の新体制で活動しております。十一月

に行われました本校九十周年記念式典においては、卒業生も交え大規模な編成で演奏を行い、大成功で終えることができました。これからも『心をひとつにぬくもりのある演奏会』をモットーに地域に愛される部活動を作ってまいります。

◇書道部

数ある古典の名蹟の中から自分が、これだと心にピンときた作品をこれでもかこれでもかと臨書をする。書いた物は全て顧問に見せる。書く事は観る事に通じ、同時に観る事は書く事に通ずるという事を部員達は身を持って感じる。黙々と真摯にそして着々と活動しています。一年生六名、二年生七名。六月に本庄市民文化会館での校外展他文化祭、高校書道展、二月に本庄市役所での校外展硬筆展、書初め展では毎年県展で推薦賞・特選をいただいています。

◇美術部

一年生五名、二年生三名の八名で活動をしています。六月には本庄文化会館で校外展「水無月展」を開催しました。夏休みには、一年生が初めての油彩による校内写生を行いました。

現在は、十二月の埼玉県立近代美術館での埼玉県高校美術展、二月の本庄市役所での校外展「如月展」へ向け、一人ひとりが目標を持ち、作品制作に熱心に取り組んでいます。

進路状況

一、昨年度入試結果について

国公立大学は一般受験合格六名、推薦合格三名の計九名、浪人生が一般受験合格五名でした。内訳は、埼玉大四名、群馬大三名、福井大一名、埼玉県立大一名、高崎経済大二名、前橋工科大二名、群馬県立女子大一名です。昨年度の十八名には及びませんが、よく健闘したと思います。

私立大学では早稲田・慶応・上智大への合格者は残念ながらありません。受験者も二名のみであり、今後の課題といえます。GMARCHへの一般受験合格は九名、指定校推薦合格七名。浪人生が一般受験合格九名でした。内訳は、立教大八名、法政大七名、明治大五名、青山学院大二名、中央大二名です。合格者の多い大学は東洋大三十四名、大東文化大三十二名、日本大二十一、立正大二十一、東京電機大十名、東京家政大十名です。最近の傾向として、群馬県内の大学への進学者が増加しています。地元志向がより強まった結果かもしれません。

センター試験への出願者は百九十七名で、実受験者は百八十四名（英語）でした。また、世界史B、現代社会、政治経済の三科目で全国平均を上回りました。センター試験利用での私立大学合格者は七十名、不合格者は百六十三名でした。AO入試では国立大や難関大学への受験者・合格者はいませんが、一般的な大学へ十七名が合格しています。第一志望であればすすめられますが、安易な利用は考えものです。

専門学校進学者は五十三名で過去五年間の中で最低でした。内訳として看護十二名、保健医療十二名、理美容五名、その他二十四名です。多くの生徒が目的をもった進路選択をしていると思われま。浪人他となつた者は三十名で浪人率ははじめに十%を切りました。全国的に現役・安全志向が強いと言われ、本校でもその傾向ですが、高い目標にチャレンジした上で、現役合格が勝ち取れるよう、今後とも指導したいと思っています。

二、本年度の取り組み

昨年度より、三年生で進路希望別クラス編成を実施、一般受験での国公立・難関私大に合格できる学力の育成に努めています。土曜補習も一、二学期で十六回計

画され、百名以上の生徒が参加しています。一年生でも希望者に対し土曜補習を実施しています。夏季補習は三年生二十二講座、一、二年生十七講座が実施されました。また、平日においても多くの教科・科目で補習が行われています。ここ数年はサテライン（予備校の衛星授業）より教員による生の補習への希望が多く、今後もこの傾向が続くと思われま。視聴覚室での朝学習や放課後の新館学習室開放も多くの生徒が利用しています。

「進学力グレードアップ推進事業」や「未来を開く学び推進事業」など県からの委託事業も継続して行われ、学力向上や進路実現に大きく貢献すると思われま。『北部五校進学指導充実協議会』は、県の事業としては終了しましたが、『東大見学会及び合同勉強会宿』などは引き続き実施されました。今後とも、五校（熊高・熊女・熊西・秩父・本庄）で協力して、進路指導・教科指導の充実に力をいれています。

本庄高校の取り組みとしては一年生で「宿泊学習研修」、二年生で「大学模擬授業」「小論文講座」の実施、「鈴木大地氏と荻野正裕氏（本校OB・外務省勤

務）による進路講演会」、「保護者向け進路講演会」、希望者（二十九名）が参加した「筑波大学見学会」などがあります。来年度より進学重視型単位制高校になり、全学年、隔週で土曜授業も始まります。伝統と躍進をめざし、より充実した進路指導のため、今まで以上のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

過去5年間の進学者実績の変化

	平成20年度入試		平成21年度入試		平成22年度入試		平成23年度入試		平成24年度入試	
	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人
国公立4年制大学	8	3	9	3	8	3	15	3	9	5
私立4年制大学	164	19	175	23	189	28	163	28	196	16
私立短期大学	28	0	28	0	17	0	20	0	26	0
専門学校	79	0	63	0	64	2	81	1	53	0
公務員・就職	3	0	8	0	4	1	5	0	9	0
卒業者数	321	0	325	0	325	0	320	0	325	0
4年制大学進学者	172	-	184	-	197	-	178	-	205	-
4年制大学進学率	53.6%	-	56.3%	-	60.6%	-	55.6%	-	63.1%	-
浪人他	39	-	44	-	43	-	36	-	30	-
浪人率%	12.1%	-	13.5%	-	13.2%	-	11.3%	-	9.2%	-

終身会費納入者芳名

平成二十三年度

〔高60〕 松本 博	〔女高1〕 山崎 富士子	〔女21〕 戸谷 節子	〔女16〕 大澤 邦江	〔女14〕 西尾 弘子	〔女9〕 松井 サク	〔中19〕 原 宏	〔中11〕 茂木 友信	〔中4〕 金久保 津子、井上 素一	〔高64〕 関口 菜緒、横山 貴史、小暮 あゆみ、岡部 雅子	〔高63〕 根岸 帆乃香、須田 雄紀	〔高62〕 榎 あいみ、田島 慎也	〔高50〕 渡邊 愛	〔高49〕 鈴木 しのぶ	〔高48〕 丸岡 進也、鈴木 道雄	〔高47〕 新井 兼司、鈴木 道雄	〔高44〕 小森 貴宏、鈴木 みゆき	〔高43〕 神田 賢一、青木 規	〔高42〕 清水 政義、山田 裕幸	〔高39〕 長谷川 素子、川鍋 一也	〔高27〕 掛川 ひろみ、竹内 成夫	〔高12〕 掛川 ひろみ、川鍋 一也
〔高60〕 松本 博	〔女高1〕 山崎 富士子	〔女21〕 戸谷 節子	〔女16〕 大澤 邦江	〔女14〕 西尾 弘子	〔女9〕 松井 サク	〔中19〕 原 宏	〔中11〕 茂木 友信	〔中4〕 金久保 津子、井上 素一	〔高64〕 関口 菜緒、横山 貴史、小暮 あゆみ、岡部 雅子	〔高63〕 根岸 帆乃香、須田 雄紀	〔高62〕 榎 あいみ、田島 慎也	〔高50〕 渡邊 愛	〔高49〕 鈴木 しのぶ	〔高48〕 丸岡 進也、鈴木 道雄	〔高47〕 新井 兼司、鈴木 道雄	〔高44〕 小森 貴宏、鈴木 みゆき	〔高43〕 神田 賢一、青木 規	〔高42〕 清水 政義、山田 裕幸	〔高39〕 長谷川 素子、川鍋 一也	〔高27〕 掛川 ひろみ、竹内 成夫	〔高12〕 掛川 ひろみ、川鍋 一也

平成二十四年度
事業計画

平成23年度収支決算書

自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日

収入の部		(単位 円)	
科目	予算額	決算額	比較増減
入会金	680,000	678,000	△2,000
終身会費	1,000,000	670,000	△330,000
年会費	10,000	20,000	10,000
寄付金	10,000	20,000	10,000
繰入金	300,000	1,015,721	715,721
雑収入	50,000	4,088	△45,912
合計	2,050,000	2,407,809	357,809

支出の部		(単位 円)	
科目	予算額	決算額	残 額
総会費	150,000	63,626	86,374
組織編成費	380,000	353,205	26,795
記念品費	289,000	289,000	0
母校助成金	50,000	50,000	0
会議費	20,000	6,713	13,287
通信費	652,740	652,740	0
交際費	50,000	2,310	47,690
事務雑費	311,000	284,028	26,972
育英資金	50,000	50,000	0
予備費	97,260	0	97,260
合計	2,050,000	1,751,622	298,378

※平成24年3月31日現在 財産目録 23,456,168円

上記監査 平成24年5月23日

監事 武政真二・黒澤敬子

※平成24年3月31日現在 終身会費納入者数 5,706名

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	各月
母校卒業式に出席	同窓会入会式 新理事委嘱式	配布	新会員へ会費納付書	支部長会新年会開催	育英資金助成金贈呈	会報第43号発行	創立90周年記念式典	90周年事業の準備	90周年事業の準備	90周年事業の準備	90周年事業の準備	90周年事業の準備

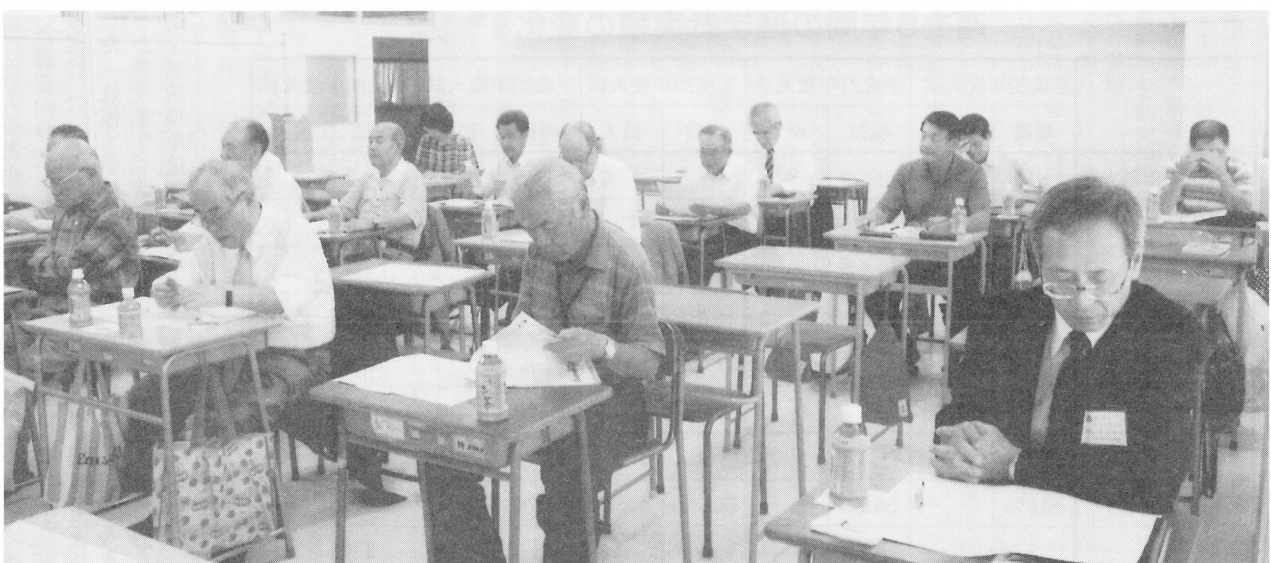
会費納入についてお願い

同窓会では、母校の充実発展に寄与するとともに、会員相互の親睦向上を図ることを目的に努力しております。基礎財源は終身会費（一万円）であります。会費未納の方のご協力を何卒お願い申し上げます。納入の際には必ずご送付申し上げた振込用紙をご使用ください。なお、念のため加入者名・口座番号をお知らせ致します。

加入者名 埼玉県立本庄高等学校同窓会
口座番号 〇〇一四〇一六六九四三五一

新年会・支部長会・総会案内

①新年会・支部長会
二月二十三日（土）午後三時より 於五州園
②平成二十五年度通常総会
六月十五日（土）午後三時より 於埼玉グランドホテル本庄
※いずれも会費六、〇〇〇円
皆様の参加をお待ちしております。



平成24年9月29日 支部長会議（於、改修後の普通教室）